

2013年3月『フェアウッドセミナー』

— 企業の取り組み事例紹介 —

朝日ウッドテックの取り組み

朝日ウッドテック株式会社
品質保証部環境推進室

谷口 正剛

1

会社概要

- 【社名】 朝日ウッドテック株式会社
- 【本社所在地】 大阪市中央区南本町4丁目5番10号
- 【創立】 1952年9月16日 **※創立60周年**
- 【事業内容】 木質内装建材の開発・製造・販売
(床材、階段、壁材、造作材、床暖房パネル)

【環境関連認証の取得】

(ISO14001 認証)

(森林認証)

2009年までに主要事業所で認証取得
全工場(6工場)、本社、東京支店他

2008年 FSC/PEFC-CoC認証
2012年 SGEI-CoC認証

2

朝日ウッドテックの取り組み

「3つの視点」

1. 商品面

2. 調達面

3. 技術面

3

1. 商品面

(1)床材

環境配慮型床材「エコフロア」

コンセプト

地球の森との共生
持続可能な木質部材調達

ECO FLOOR
エコフロア

意匠性 Attractive 耐久性 Strong 安定性 Stable 安全性 Safe

水廻り床の耐湿

自社基準



製品体積の**70%以上**が
持続可能な木質部材で構成されている

Environment Conscious Floor
(エンバイロメント・コンシャス フロア)
環境配慮型床材

4

1. 商品面

「持続可能な木質部材」 ※朝日ウッドテック独自の呼称

| | | | |
|---|---|---|---|
| 適切に管理された森 | | アグロフォレストリ (混農林業) | マテリアル リサイクル |
| 認証林 | 非認証林 | 農業と林業を 組み合わせた方法 | 廃木材、端材の 再利用 |
|  |  |  |  |
| FSC認証の天然南洋材 メランティ(ラワン) | 北米やヨーロッパの広葉樹 国産材 (スギ、ヒノキ) (広葉樹) | 東南アジアの早生植林木 ファルカータ | MDF やパーティクルボードなどの エンジニアードウッド |

事例

1. 商品面

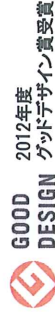
(1)床材
エコフロアの事例①

化粧材:アメリカ広葉樹

基材:FSC認証合板



原産材 焼き板



2012年度 グッドデザイン賞受賞

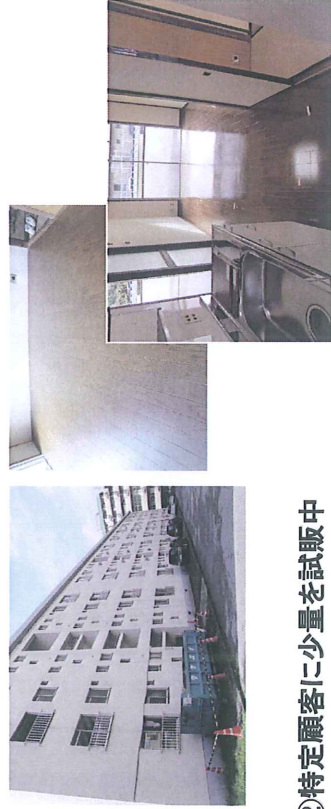


1. 商品面

(1)床材 エコフロアの事例②

国産材(スギ)を基材に活用したフロアの開発・試販

①2010年 東京都東区東陽町林野庁宿舎で試施工



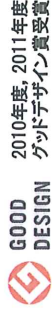
②特定顧客に少量を試販中

1. 商品面

(2)国産材(スギ・ヒノキ)を活用した意匠壁

商品名:
「クールジヤパン」

産地:
鳥取県、熊本県、
宮崎県、鹿児島県



2010年度, 2011年度
グッドデザイン賞受賞



朝日ウッドテックの取り組み

「3つの視点」

1. 商品面

2. 調達面

3. 技術面

2. 調達面

「木材調達ガイドライン」を策定し、ガイドラインに沿った調達を推進。

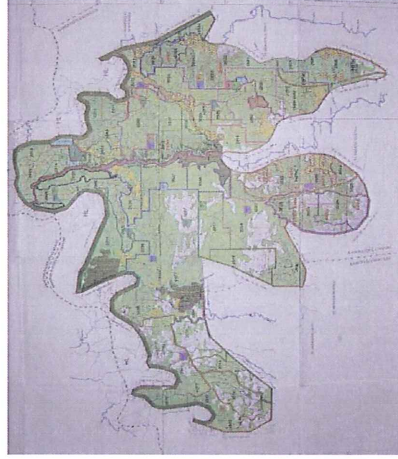
木材調達ガイドライン

1. 合法性が確認された木材を調達します
2. 以下の持続可能な木質部材を積極的に調達します
 - (1) 森林認証材
 - (2) 環境保全や地域社会の利益につながる植林木
 - (3) 国産材
 - (4) 廃木材、端材などを原料とするエンジニアードウッド
 - (5) 森林の多面的機能が発揮されるように管理された森から出た木材

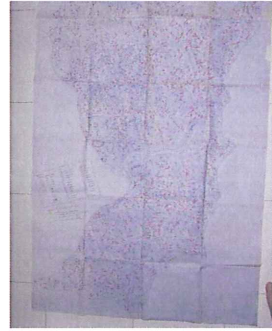
【森林の多面的機能】
木材・食料などの物質生産、生物多様性の保全、地球温暖化の緩和、土壌の保全、水源のかん養などの諸機能
3. サプライヤーとの対話を大切に、情報を共有するとともに、必要に応じて現地確認を行います。

2. 調達面

1) 現地確認の事例 ～FSC認証材～



面積: 14万7千ha
(東京都23区の2.3倍)



2. 調達面

1) 現地確認の事例 ～FSC認証材～



厳選したメランティを丁寧に伐採(折抜)



植林(ライブラティグ)



約1年をかけてメランティの苗を育成する



2) 現地確認の事例 ～早生植林木～

アグロフォレストリーによって
産出されたファルカタ

【アグロフォレストリー(混農林業)の概念】

アグロフォレストリーとは、ある土地に樹木または木本性植物と農作物、もしくは家畜をほぼ同時期に植栽したり放牧したりする。ー(中略)ー農作物を短期的あるいは永年的に栽培、飼育し、植物資源を常に保有しつつ土地を有効に利用し、生産するシステムである。

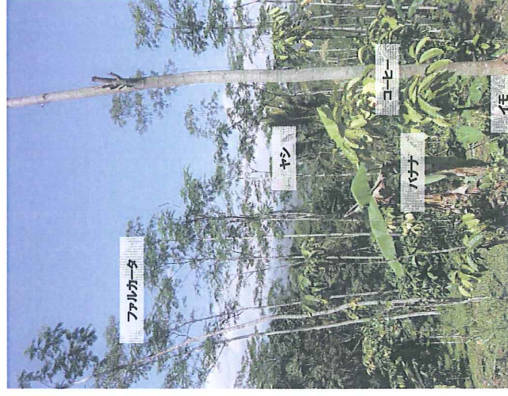
出典:『実践的アグロフォレストシステム』(財)国際緑化センター

アグロフォレストリー(混農林業)を行うことの利点

- 1 養分や土地の有効利用のために立体的(多層的)な利用ができる。
- 2 樹木の存在によって微気象の調整が可能となる。
- 3 生態系の物質循環がスムーズとなるため落葉の分解が促進され、有機化が行われやすい。
- 4 薪炭材の生産が住居地の近郊で行える。
- 5 木材だけでなく、樹種選択によって家畜の飼料や生垣など緑の活用ができる。
- 6 太陽エネルギーの授受割合を植物によって変えることができる。
- 7 土壌の保全と保水機能を果たすことができる。
- 8 防風効果により農作物の生産をはかることができる。
- 9 地域経済の活性化ができる。

出典:『実践的アグロフォレストシステム』(財)国際緑化センター

2) 現地確認の事例 ー早生植林木(ファルカタ)



朝日ウッドテックの取り組み

「3つの視点」

1. 商品面

2. 調達面

3. 技術面

17

今後の取り組み

1. 木材調達

全ての木材について合法性を確認する。
地域社会と環境に考慮した木材の調達に努める。

2. 技術の確立

新たな樹種・木質材料を使いこなす技術を確立する。

3. お客様への情報開示

お客様の調達基準に合致した製品であることのエビデンスや関連する情報を示す。

サプライヤーの協力・信頼関係がベース

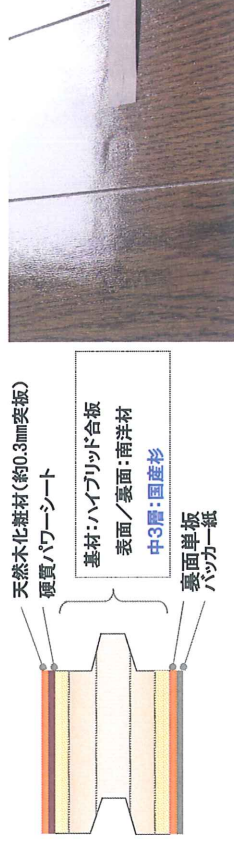
19

3. 技術面

これまで使わなかった樹種や木質材料を、
使いこなす技術の確立に取り組んでいます。

(住宅の内装材に求められる高い品質基準をクリアしなければならない)

【国産材(スギ)をフロア台板に使用した例】



18

ご静聴
ありがとうございました

20